

道路交通調査体系に関する今後の取組

令和6年2月29日

国土交通省 道路局 企画課
道路経済調査室

令和5年7月28日

新たな国土形成計画 「シームレスな拠点連結型国土」の構築

国土幹線道路部会

高規格道路ネットワークのあり方 中間とりまとめ (R5.10.31)

重点課題

経済再興 国土安全保障 物流危機対応 低炭素化

基本方針

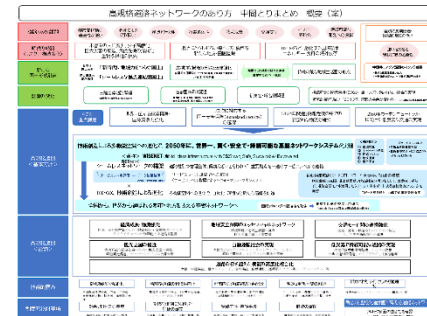
2050年、世界一、**賢く・安全で・持続可能な**
基盤ネットワークシステム

||

WISENET (ワイズネット) を目指して

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered
NETwork

- シームレスネットワークの構築
- 技術創造による多機能空間への進化



WISENET2050

“2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム”をWISENET（ワズネット※）と位置づけ、その実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献します。

ワズネット
WISENET : World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork)

ワズネット WISENETのコンセプト

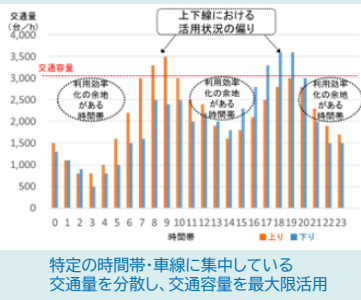


道路交通調査体系に関する今後の方針(案)

- WISENETの実現に向けた道路交通調査体系の構築を推進
- サービスレベルの観点からも細やかな交通状況の調査を実施

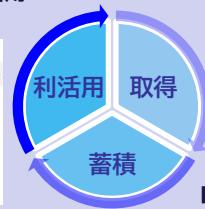
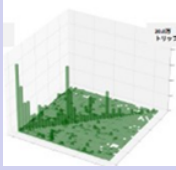
パフォーマンス・マネジメント

■ サービスレベルの現状



「データの取得・蓄積・利活用」の高度化

■ ビッグデータを活用したOD表の作成



■ AIによる多様な交通主体への観測拡大



■ 交通量やETC2.0の観測機(常設・可搬型)の拡充

xROADの推進・展開

■ データプラットフォームの構築

- 道路に関連するデータの紹介
- 交通量データ等のオープン化
- 点検DB等の関連データとも連携を強化



【道路復旧見える化マップ(能登半島地震)】



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム(WISENET)の実現

・シームレスネットワークの構築

・技術創造による多機能空間への進化

経済成長・物流強化



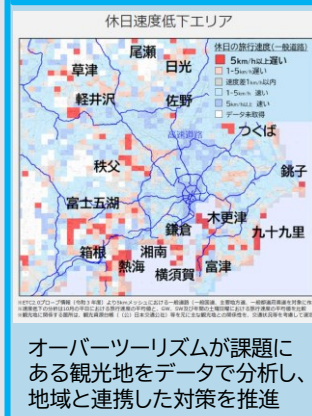
地域安全保障のエッセンシャルネットワーク



交通モード間の連携強化



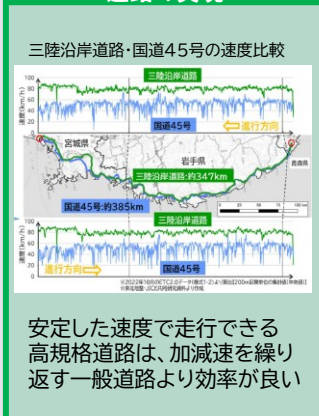
観光立国の推進



自動運転社会の実現



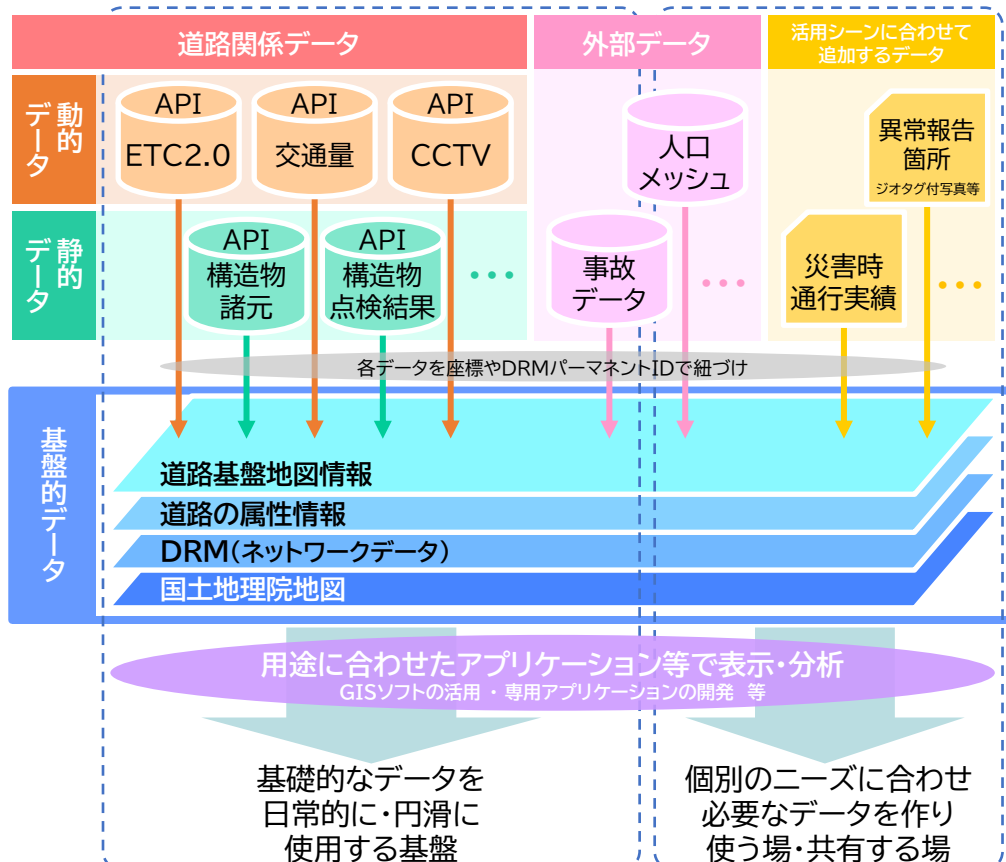
低炭素で持続可能な道路の実現



道路システムのDX「^{クロスロード}xROAD」の推進(道路関連データの活用拡大)

- 道路に関する基礎的なデータを集約し円滑に活用可能にするとともに、各道路管理者等のニーズに合わせて様々なデータを作成・活用できるようにするツールとして、道路データプラットフォームを構築
- データ活用による道路の調査・整備・維持管理・防災等の効率化・高度化を推進
- データのオープン化による民間利活用・オープンイノベーション等を促進

道路データプラットフォーム(イメージ)



活用の方向性(イメージ)

データの作成・可視化

災害時の情報集約・発信
〔令和6年能登半島地震
道路復旧状況見える化マップ〕

観光地の渋滞傾向など、
道路のサービスレベルの
可視化基盤の整備



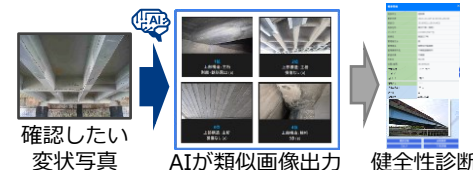
※ あわせて更新情報をGeoJSON形式で提供



例) データビューア(作成予定)

各分野のアプリケーション等開発

蓄積されたデータを
活用した点検高度化
例) 道路施設点検DBの
データを活用した
アプリ(開発予定)



オープン化

- 地理空間データとして公開、API連携等のオープン化
- 「国土数値情報」等のオープンデータサイトとの連携推進



例) ポータルサイト(構築予定)